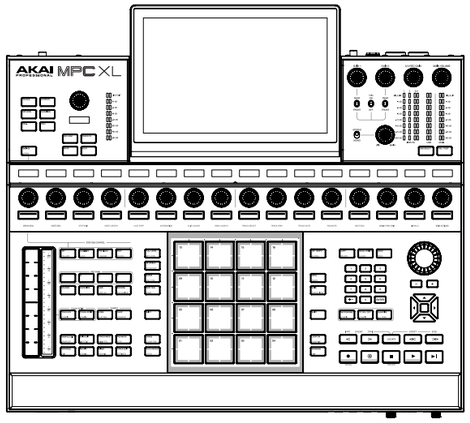
AKAI PROFESSIONAL MPC XL

クイックスタートガイド（日本語）

v1.0



AKAIPRO.COM/SUPPORT

製品についての詳細、ビデオ、問い合わせ先、Web サポートにつきましては、左の QR コードまたは上記 URL をご覧ください。

Model: ACVC

1 はじめに

同梱物：MPC XL、電源アダプター、USB ケーブル、クリーニングクロス、ディスプレイプロテクター、ソフトウェアダウンロードカード、クイックスタートガイド、安全および保証マニュアル

AKAIPRO.COM/REGISTER

- **製品の登録**
- **ユーザーガイドのダウンロード**
- **付属ソフトウェアのダウンロード**
- **チュートリアルビデオ**

2 接続

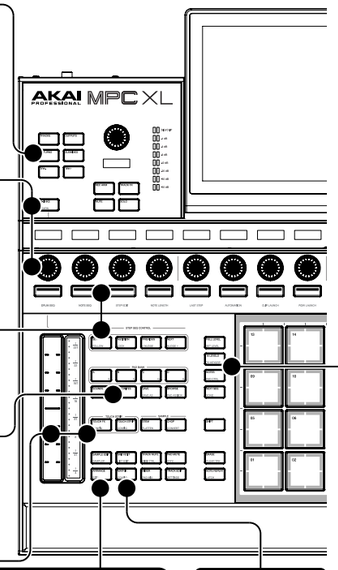
リアパネル

1. **電源ボタン：**MPC XL の電源をオン / オフします。
2. **電源入力端子：**ここに付属の電源アダプターを接続します。電源アダプターは 2 つの部品で構成されています。箱の中身から両方の部品を取り出していることを確認してください。
3. **USB-C® ポート：**コンピューターの USB ポートに接続して、付属の MPC ソフトウェアを制御したり、オーディオや MIDI の送受信を行います。対応する USB-C モバイルデバイスやタブレットに接続し、オーディオサンプリングを行うこともできます。
4. **USB-A ポート：**クラスコンプライアントの MIDI デバイスやオーディオデバイス、またはUSBフラッシュドライブを接続し、ファイルにアクセスできます。
5. **CV/Gate（3.5 mm、TRS）：**これらの端子から、外部のモジュラー機材に制御電圧（CV）やゲート信号を出力します。8 つの CV/Gate 出力は、TRS to TS アダプター（別売）を使用することで、16 個の出力に拡張可能です。
6. **MIDI 入力端子 1/2 / MIDI 出力端子 A ～ D：**外部 MIDI デバイス（コントローラー、シンセサイザー、ドラムマシンなど）と接続します。
7. **オーディオ出力 1 ～ 8（6.35 mm TRS 端子）：**これらの出力端子には、モニターやミキサーなどを接続します。出力端子 1/2 は「**MAIN（L/R）**」とラベリングされています。
8. **オーディオ入力 1/2（XLR / 6.35 mm TRS コンボ端子）：**これらの入力端子には、マイクまたはラインレベルのオーディオソース（ミキサー、シンセサイザー、ドラムマシンなど）を接続します。対応するトップパネルの **REAR/FRONT** スイッチを **REAR** に設定し、**GAIN 1/2** ノブを使用してレベルを調整します。
9. **オーディオ入力 3/4（6.35 mm TRS/RCA 端子）：**これらの入力端子には、ラインレベル（6.35 mm）またはフォノレベル（RCA）のソースを接続します。**PHONO/LINE** スイッチを適切な設定にし、トップパネルの **3/4 REC GAIN** ノブを使用してレベルを調整します。
10. **フォノ / ライン 切り替えスイッチ：**使用する **INPUT 3/4** のコネクターに応じて、このスイッチを適切な **PHONO**（RCA）または **LINE**（6.35 mm）の位置に設定します。
11. **GND（グラウンド）：**フォノレベルのターンテーブルを本機の **INPUT 3/4** に接続し、ハムノイズやバズ音が発生する場合は、ターンテーブルのアース線をこの端子に接続してみてください（対応している場合）。

フロントパネル

12. **ヘッドホン出力端子（6.35 mm / 3.5 mm TRS）：**ここにヘッドホンを接続してください。
13. **ヘッドホンボリューム：**ヘッドホン出力のボリュームを調節します。
14. **ミックスバランス：**ヘッドホンでモニタリングする **MAIN** 出力と **3/4** 出力のバランスを調整します。
15. **インストゥルメント入力 1/2（6.35 mm TS）：**これらの入力端子には、ギターやベースなどの楽器レベルのオーディオソースを接続します。対応するトップパネルの **REAR/FRONT** スイッチを **FRONT** に設定し、**GAIN 1/2** ノブを使用してレベルを調整します。
16. **フットスイッチ入力 1/2（6.35 mm TRS）：**これらの入力端子に、別売オプションのフットスイッチを接続します。
17. **SD Card Slot:** SD、SDHC、または SDXC カードを挿入して、ファイルにアクセスします。

3 使い方



トラックのナビゲーションとコントロール
効率的な制作のための専用チャンネルストリップセクション

TRACKS、OUTPUTS、RETURNS、または SUBMIXES を押すと、選択したトラックを即座に表示できます。

TRK-/TRK+ を押してトラックを切り替えます。

ディスプレイとレベルメーターを備えた、専用のトラックレベル Q-LINK ノブ。

TRACK FX を押すと、トラックFXラック、REC ARM、MUTE、SOLOボタンを即座に表示できます。

割り当て可能なQ-Linkコントロール
16個のOLEDパラメーターディスプレイ付きエンドレスロータリーエンコーダー

Q-LINKS を押してモードを切り替えます。

SHIFT + Q-LINKS を押して LEARN モードを使用し、複数のパラメーターをマクロに割り当てて、カスタマイズ可能なコントロールを作成します。

ステップシーケンサー
16個のステップボタンでシーケンス&パフォーマンス

SET を押しながらボタン行を操作して、シーケンスオプションにアクセスします。

ドラム、ノート、オートメーション、クリップ、またはシーンを制御できます。

16GBを超えるコンテンツ
最先端のインストゥルメントおよびインサートエフェクトを搭載

SOUNDSボタンを押して、インストゥルメント、プログラム、プリセットをブラウズします。

ロードせずにトラックやプログラムを簡単に試聴できます。

FAVORITESで、よく使用するプリセットを保存したり、演奏用にセットリストとして整理することができます。

強化された処理能力とストレージ
16GB RAM
256GB 内蔵ストレージ

最大256ボイス、32プラグイン、16オーディオトラックに対応。

Wi-FiおよびBluetooth接続
コンテンツやアップデートを無線でダウンロード、Bluetoothコントローラーやキーボードのワイヤレス接続

Menu > Preferences からネットワークやデバイスの接続および管理を行います。

鮮やかな10インチタッチディスプレイ
マルチジェスチャーに対応し、直感的で素早い操作が可能

ボタンやオプションをタップして選択できます。

ダブルタップして、高度な編集オプションにアクセスします。

スワイプでスクロールしたり、2本の指を広げたりつまんだりして、波形やプロジェクトタイムラインのセクションをズームインまたはズームアウトできます。

スタジオのセンターピース
外部機器を接続してコントロールも簡単

メーター付きの入力 GAIN コントロールと DIR/MAIN ブレンドノブを搭載。

MAIN VOLUME ノブで出力レベルを調整し、PRE/POST モニタリングボタンとレベルメーターを備えています。

USBレコーディング
コンピューターから高品質なオーディオを直接サンプリング可能

USB SELECT を押して、USBルーティングオプションを表示します。

パワフルな MPC3 OS
最大限の効率を実現するよう再設計されたワークフロー

MENU を押すと、MPC モード、設定、プロジェクト、保存メニューにアクセスできます。

メニューアイテムをタップしてドラッグすると、最も頻繁に使用するモードを 5 つ、左側のスライドアウトメニューに再配置できます。

MAIN ボタンを押すと、Main モードにアクセスできます。ここでは、シーケンス、トラック、アレンジメントなどプロジェクト全体の概要が表示され、拡張可能なミキサーストリップも確認できます。

割り当て可能なタッチ・ストリップ・コントローラー
指先で自在に操れる、表現豊かなパラメーターコントロール

TOUCH FX ボタンを押して、タッチ操作によるエフェクトをコントロールします。

SHIFT + TOUCH FX を押して、タッチエフェクトを設定します。

TOUCH STRIP ボタンを押して、ノートリピート、ピッチベンド、モジュレーション、その他のコントロールモードを切り替えます。

SHIFTを押しながらこのボタンを押して、タッチストリップの設定画面に入ります。

アレンジモード
充実した機能のリニアアレンジャー

ARRANGEボタンを押すと、リニアタイムラインが表示されます。

SHIFT + ARRANGE/EDIT を押して、強力なツールを活用しながらトラックやアレンジ全体を編集します。

作成した楽曲をミックスしたら、ステレオファイルにエクスポートしたり、個別のトラックとしてステムを作成できます。

クリップマトリックス
クリップやシーンを記録したり、ローンチ可能

MATRIX を押して、Clip Launch Matrix を開きます。

ライブパフォーマンス用にクリップやシーンの行を追加・編集・管理するか、それらをリニアアレンジャーに記録します。

16個の次世代MPCeパッド
ベロシティ&アフタータッチ対応の3Dセンシング・テクノロジー

NOTES ボタンを押すと、サンプルのトリガーとメロディーフレーズの再生を切り替えられます。

BANK A-D/E-H ボタンを使用して、バンクを切り替えます。

NOTE REPEAT、FULL/HALF LEVEL、16 LEVELS ボタンを使用して、パッドパフォーマンスを切り替えます。

SHIFTボタン
各ボタンの二次機能にアクセスします。

さらに詳しくは、ユーザーガイドをダウンロードしてください。AKAIPRO.COM

トランスポートとロケート
正確なプレイヘッドの制御

</> および <</> を押してプレイヘッドを移動します。SHIFT を押しながらこれらのボタンを押すと、イベント間やスタート/エンドに移動できます。

LOCATE を押して、プレイヘッドのコントロールやリニアタイムラインマーカーにアクセスします。

ARRANGE を押してアレンジメントに録音します。SHIFT を押しながら ARRANGE/CLIP を押すと、クリップに録音します。

SHIFT + RECORD を押して、直近のMIDIパフォーマンスを呼び出します。

製品保証規定

1. 製品の保証期間は**ご購入日より一年間**です。
2. ご購入時の**納品書・領収書がご購入証明になります。**紛失しないように大切に保管してください。
3. 保証期間内の無償修理はお買上げの販売店にご依頼の上、購入証明をご提示ください。
4. 贈答品などでお買上げ販売店が不明な場合には、弊社カスタマーサポート部へご相談ください。
5. 保証期間内でも次の場合には有償修理になります。
   （イ） ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
   （ロ） お買上げ後の移動や落下などによる故障および損傷。
   （ハ） 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷。
   （ニ） 消耗部品の交換。
   （ホ） 購入証明のご提示がない場合。
   （ヘ） 購入証明にご購入日および販売店名の記載がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
6. inMusic Japan は製品の使用不可能または不具合に基づく損害、また法律の定める範囲内での人身傷害を含める、いかなる二次的および間接的な損害賠償の責任を負いません。保証条件や本保証に基づき inMusic Japan が負う責任は販売国の国内でのみ有効です。本保証で定められた修理は inMusic Japan でのみ行われるものとします。
7. オークションなどを含む中古販売品・個人売買品・未開封品の二次販売等は本保証の対象外となります。
8. 修理およびその他ご不明な点につきましては、弊社カスタマーサポート部へご連絡ください。

inMusic Japan株式会社 カスタマーサポート部

東京都港区南麻布 1-5-10 小池ビル 2F

[Web] inmusicbrands.jp

[サポート] www.inmusicbrands.jp/support/

本書に記載されている内容は、作成時点の情報に基づいており、予告なく変更される場合があります。記載内容の正確性や最新性を完全に保証するものではありません。

安全にお使いいただくために

1. すべての警告や指示に従ってください。本書は大切に保管してください。
2. 警告（該当する場合）: 電気や安全などに関して、製品の外装底部の外殻または背面パネルに印刷された情報を必ず参照してください。
3. お手入れの際は乾いた布を使用してください。
4. 水と湿気（該当する場合）: 本機を水の近くで使用しないでください。本機を水滴や水しぶきにさらしたり、花瓶など液体が入ったものを本機の上に置いたりしないでください。
5. （該当する場合）換気口を塞がないでください。製造元の取扱説明書に従って設置してください。良好な通気を保ってください。本機を本棚などの狭い場所、もしくは箱状になったスペースに設置しないでください。
6. 暖房機器などの熱を発生する装置（アンプを含む）の近くに設置しないでください。点火されたキャンドルなど、火気のあるものを本機の上に置かないでください。
7. （該当する場合）本機は、取扱説明書に記載されているタイプ、または本機に記されているタイプの電源にのみ接続してください。
8. 電源コードが損傷しないように注意してください。移動中や使用しないときには、ケーブルタイなどで電源ケーブルをしっかりと固定してください。再度使用する前に、電源コードが損傷していないかを確認してください。電源コードがどのように損傷した場合でも、本機とコードを専門の修理技術者へ持ち込み、製造元が指定する修理または交換を受けてください。
9. 雷雨時や長期間使用しない場合は、電源プラグを抜いてください。
10. 製造元が指定するアタッチメントやアクセサリーのみを使用してください。
11. （該当する場合）製造元が指定する、もしくは本機とセットになっているカート、スタンド、トリポッド、ブラケットまたはテーブルを使用してください。
12. 内部/外部電圧セレクター（該当する場合）: 内部または外部の電圧セレクタースイッチがある場合、専門の修理技術者によって適切なプラグにリセットおよび再設定する必要があります。自分で変更しようとしないでください。
13. 注意（該当する場合）: バッテリー交換の過失による、爆発の危険があります。同型または同等品とのみ交換してください。
14. （該当する場合）極性付きのプラグやアース端子付きの電源プラグは危険防止のために正しく使用してください。これらは安全のためのものです。
15. 保護アース端子（該当する場合）: 保護アース接続のある主電源コンセントに接続してください。
16. クラスII機器のみ: このシンボルは、機器がClass IIまたは二重絶縁電気機器であることを示しています。安全性のため電気的なアースへの接続を確認してください。
17. 警告（該当する場合）: 主電源プラグを主電源に接続する前に、アース接続を行ってください。アース接続を外すときは、必ず主電源プラグを主電源から抜いた後に外してください。
18. （該当する場合）主電源プラグ又は器具カプラを遮断器として使用する場合，遮断器は容易に操作可能なままでなければならない。
19. 該当する場合）: 聴覚障害を防ぐため、大音量で長時間使用しないこと。
20. 本装置は業務用です。想定される使用環境：おだやかな気候。

安全のための注意

注意: 感電の危険を避けるため、カバーを取り外さないでください。内部にはユーザーによって修理可能な箇所はありません。修理は専門の技術者に依頼してください。

危険
感電の恐れがあります。
分解しないでください。

危険電圧: 正三角形の中にある矢尻の付いた稲妻のシンボルは「危険電圧」が製品の筐体内に存在することを警告しています。この部分は絶縁されておらず、感電の危険があります。

取り扱い: 正三角形の中にある感嘆符は操作やメンテナンス、または修理に関して特別な指示があることを警告しています。本機に添付されている取扱説明書を参照してください。

SA 1965　SA 1966

注意（米国およびカナダモデルのみ）: 感電防止のため、ブレードが露出している場合、極性プラグを延長コードやレセプタクル、その他のコンセントに使用しないでください。使用する場合はブレードを完全に差し込んでください。

レーザー製品に関する注意事項: 危険: 本体が開かれた状態でインターロックが故障または解除された場合、目に見えないレーザーが照射されます。ビームに直接当たらないようにしてください。ここで指定されていないコントロールや調整を行った場合、有害な放射線被曝の可能性があります。

FCC規制に関する注意: 規制に関する記述によって認められていない改造や修正を行った場合は、本機の操作権限がユーザーから剥奪される場合があります。本機は、FCC規則パート15に従い、クラスBデバイスの制限に準拠することが確認されています。この制限は住宅における設置において、有害な干渉からの合理的な保護を目的としています。

本機は無線周波数エネルギーを発生させ、放射する可能性があります。また、取扱説明書に従わずに設置および使用された場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。一方、特定の設置に関して干渉が発生しないことを保証するものではありません。本機がラジオまたはテレビに有害な影響を引き起こしているかどうかは、本機の電源を入れたり切ったりすることで判断可能です。また、本機が干渉を発生させていることが確認された場合、以下の1つまたは複数の措置を行ってください。（**a**）受信アンテナの向きを変える、または場所を変更する。（**b**）本機を移動する。（**c**）本機と受信機の間隔をなげる。（**d**）受信機が接続されている回路とは別の回路のコンセントに本機を接続する。（**e**）すべてのケーブルが適切にシールドされていることを確認する（必要に応じてチョークコイルやフェライトを使用する）。（**f**）販売店またはラジオ/テレビ技術者に相談する。（該当する場合）本機の操作や設置の際は、使用者はラジエーターから20 cm以上離れてください。

RF警告文（該当する場合）: 本機は一般的なRF暴露制限を満たしています。本機を高RF放射環境での使用は避けてください。

他ユーザーへの電波干渉の可能性を提言するため、等価等方放射電力（EIRP）が正常な通信に必要な値を超えないよう、アンテナの種類とゲインを選択してください。この無線送信機（認証番号、またはカテゴリーIIの場合はモデル番号でデバイスを識別）は、最大許容ゲインにおいて以下のリストが示すアンテナタイプで動作することがISEDによって承認されています。また、各アンテナタイプに要求されるアンテナインピーダンスが指示されています。このリストに記載されていない、表示されたそのタイプに対する最大ゲインを超えるゲインのアンテナと本機の併用は固く禁じられています。

本機はカナダ通信相の電波号外規制によって定められた、デジタル機器からの電波ノイズ放射に関してクラブB制限を超えません。

本機は無保護、無干渉状態で作動します。同じテレビ帯域で運用されている他の無線サービスからの保護を得たい場合、無線免許を取得してください。詳細については、カナダ西部イノベーション科学経済開発省に問い合わせてください。本機は無保護、無干渉状態で作動します。同じテレビ帯域で運用されている他の無線サービスからの保護を得たい場合、無線免許を取得してください。詳細については、カナダ西部イノベーション科学経済開発省に問い合わせてください。

放射能暴露に関して: 本機は非管理環境に対してISEDが定めた放射線暴露制限に準拠しています。（該当する場合）本機の操作や設置の際は、使用者はラジエーターから20 cm以上離れてください。

5,15～5,25 GHzの周波数帯をサポートするワイヤレス製品の場合（該当する場合）: 5.15～5.35 GHz帯の使用は屋内のみに制限されています。この制限は以下の国で適用されます: AT, BE, BG, CZ, DK, EE, FR, DE, IS, IE, IT, EL, ES, CY, LV, LI, LT, LU, HU, MT, NL, NO, PL, PT, RO, SI, SK, TR, FI, SE, CH, UK, HR

英国において240ボルトで使用する場合は、NEMA®スタイルの240ボルトプラグを使用してください。その他の国では、現地のコンセントに適したプラグを使用してください。

ESD/EFT警告: 本機は信号処理および制御機能用のマイクロコンピューターを内蔵しています。ごくまれに、強い干渉、外部からのノイズ、または静電気によってロックされる場合があります。万が一このような事態が発生した場合、最低5秒間待ってから再度電源を入れてください。このESD警告マークが表示されているコネクターのピンには触れないでください。

製品の破棄方法: このマークは本機がEU全域で他の一般廃棄物とともにされるべきではないことを示しています。破棄物処理による環境や人体への危害の可能性を防ぐため、責任あるリサイクルや材料資源の持続可能な再利用を推進してください。使用後の機材を返却する場合は、返却回収システムの利用、または製品を購入した小売店にご連絡ください。製品の環境に配慮した安全なリサイクルをおこなうため、小売店が製品を引き取ります。

製品またはリモコンにボタン電池またはコイン電池が入っている場合（CR1220、CR2025、CR2032、DC3.0V）:

⚠ 警告

- **誤飲の危険性:** 本製品にはボタン電池またはコイン電池が含まれています。
- 飲み込んだ場合、**死亡**または重傷を負う可能性があります。
- ボタン電池またはコイン電池を飲み込むと、わずか2時間で**内部化学やけど**を引き起こす可能性があります。
- 新しい電池や使用済みの電池は、**子供の手の届かないところに保管**してください。
- 電池を飲み込んだり、体の一部に挿入した疑いがある場合は、**直ちに医師の手当てを受けてください。**治療法については、最寄りの保健所にお問い合わせください。

製品内部にあるボタン電池またはコイン電池は交換できません。

強制放電、再充電（非充電式電池は再充電不可）、分解、メーカー指定の定格温度以上での加熱、焼却はしないでください。ガス抜き、液漏れ、爆発による化学やけどにより負傷する恐れがあります。

電池の廃棄（該当する場合）: 使用済みの電池は、取り外して直ちにリサイクルするか、地域の規則に従って廃棄してください。使用済みの電池でも、重傷や死亡の原因となることがあります。電池を家庭用ゴミ箱に捨てたり、焼却したりしないでください。過熱した電池は破裂や爆発の恐れがあります。電池の廃棄方法や廃棄場所が不明な場合は、お住まいの地域の条例を参照して、適切な場所や方法などを確認してください。

- アルカリ乾電池とリチウムボタン電池： アルカリ電池とリチウムボタン電池は、通常の家庭ごみと一緒に安全に廃棄できます。通常の使用や廃棄において、健康や環境に対するリスクはありません。（アルカリ電池は、主に鉄、亜鉛、マンガンなどの一般的な金属で構成されています）。アルカリ電池やリチウムボタン電池を大量にまとめて廃棄しないでください。使用済み電池は完全に「死んで」いないことが多いため、まとめて捨てると「生きている」電池同士が接触して安全上の危険が生じます。これを避けるには、各電池をテープやその他の非導電性材料で絶縁し放電しないようにしてください。アルカリ電池やリチウムボタン電池は、費用対効果が高く、環境的に安全なリサイクル方法がまだ確立されていません。地域によっては、これらの電池のリサイクルや回収を行っているところもあります。詳細については、お住まいの地域の条例を参照するか、自治体にお問い合わせください。
- 鉛蓄電池: 鉛バッテリーは、電子廃棄物センターまたはリサイクルセンターに持ち込むか、お住まいの地域の条例に従って廃棄してください。（充電式鉛蓄電池は自動車に使用されているものと同型のため、同様に廃棄してください）。

適合宣言に関する一般的注意事項: 当社は、本装置が欧州指令 2014/53/EU または 2014/30/EU（LVD: 2014/35/EU; GPSD: 2001/95/EC）の必須要件に適合していることをここに宣言します。

適合宣言に関する一般的注意事項: 当社はここに、本装置が電磁適合性規則 2016、電気機器（安全）規則 2016、または無線機器規則 2017として英国法に従っていることを宣言します。製品の仕様によって適用される規制が異なることにご注意ください。英国適合宣言書の全文は、ご要望に応じてご提供いたします。